

科目名	ジェンダー論					単位	2.0
担当教員	岩田 愛						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	4405

●授業のテーマ

ジェンダー視点で社会を見直そう

●到達目標

私たちは、自分が生活する社会の規範や文化の影響を受けて生きています。本講義を受講することで、異文化社会と私たちの社会とを比較しながら、ジェンダー視点で自分自身を見つめ直し、より豊かな社会のあり方を考え、それを日常的に意識できる力を持つことを目標とします。

●学習内容(授業概要)

本講義は、現代社会におけるジェンダーに関する基礎知識、諸問題を学びます。具体的には、家族、宗教などとジェンダーの問題を中心に、日本や諸外国の現状について理解を深めます。主に教授者が長期の現地調査に従事したネパールの事例を取り上げ、日本の事例と比較し、ジェンダーとは何か、また、ジェンダーの多様性について考えます。

●学習内容(授業計画)

《後期》

1. ガイダンス：授業内容、成績評価等に関する説明
2. ジェンダーとは何か：ジェンダーに関する基礎的な知識について
3. 「ジェンダー」は何を訴えてきたか：「ジェンダー」の歴史をたどる
4. 諸外国の家族・親族構造からみるジェンダー（1）：父系社会における男女の役割について
5. 諸外国の家族・親族構造からみるジェンダー（2）：母系社会における男女の役割について
6. 日本の家族・親族構造からみるジェンダー：イエ制度における男女の役割について
7. 宗教とジェンダー（1）：ジェンダーからみる宗教
8. 宗教とジェンダー（2）：宗教におけるジェンダー実践
9. 開発とジェンダー（1）：途上国の開発における国連等国際機関の役割について
10. 開発とジェンダー（2）：女性グループとマイクロクレジットについて
11. フィールドから（1）：ネパールのジェンダー現状について
12. フィールドから（2）：ネパール・ネワール族の社会構造とジェンダーについて
13. フィールドから（3）：ネパール・ネワール族の女性自助組織「ミサ・プツァ」とその影響について
14. 異なる文化とジェンダー：諸社会文化によるジェンダーの枠組みの多様性について
15. まとめ：授業全体のまとめ

●準備学習・事後学習の内容

授業中に配布するプリント等は、次の授業の前に読んでおくこと。

●成績評価方法・基準

定期試験(60%) 課題・レポート(20%) 平常点(20%)

●テキスト（必携）

教科書・教材：授業時にその都度指示します。

●参考文献／その他

【参考文献】

加藤秀一『知らないと恥ずかしいジェンダー入門』朝日新聞出版、2008年

川橋範子・田中雅一編『ジェンダーで学ぶ宗教学』世界思想社、2007年

●履修上の注意

初回のガイダンスにおいて、授業の全体的な内容、進め方、評価方法等について詳しく説明するので必ず出席するようにしてください。